

新規

事業者名 ウォータースタンド株式会社 熊本営業所

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

SDGsは当社にとって未来の世代からの宿題です。「ごみを減らす」といった消費のプロセスの一部を改善することではなく、マイボトルに給水することで、生産、運搬、消費、回収、リサイクルというリニア型経済のプロセス全体を見直して参りたいと考えています。循環型経済に移行するために事業を通じてより良い行動をとることへの呼びかけを広げることで、SDGsの達成に貢献して参ります。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	2019年から地方自治体と使い捨てプラスチック削減に向けた連携協定を締結し、マイボトルに給水を呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進していく。	誰もが給水できるウォータースタンド:累計3254台((現状値)2024年8月末の数値)→5000台(2027年)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	全社員がスーパーフレックス制度を選択できるようにし、多様な働き方の推進と長時間労働抑制を推進していく。	45時間以上の長時間労働を行った者:23名((現状値)2024年6月単月の数値)→長時間労働を行う従業員をゼロに(2027年)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ウォータースタンド設置台数から使い捨てプラボトル削減本数・CO2排出抑制量を推計し開示することで地域のマイボトル活動を推進していく。	ウォータースタンド設置台数:累計21万台(現状値)2024年6月期の数値→60万台(2027年)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

弊社は熊本県内の住民や事業者の方と連携し、街の中にマイボトル用給水機を設置し、マイボトルへの給水を呼びかけます。ボトル入り飲料水の運搬をなくし、容器のプラスチックを削減することは気候変動の緩和につながるほか、マイボトルに給水し水分補給することは気候変動へ適応することにつながります。気候変動や環境負荷軽減といった社会課題に取り組むには一人一人のライフスタイルの転換が必要で、無料でマイボトルに給水できる場所を拡大し多くの方を巻き込んで参りたいと考えています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。